

学生のデザイン

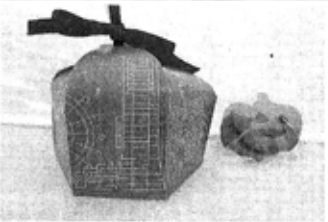
## 商品化候補に

ありあけ

相模女子大の学生が菓子メーカーありあけ（横浜市港北区）の新商品とパッケージデザインする「スウィーツデザインプロジェクト」の表彰式が2月28日、

同社ありあけハーバーズムーン本館で行われた。ハロウィーンのカボチャをかたどった「ハロウィーンクッキー」Ⅱ写真Ⅱが商品化候補作品に選ばれた。

横浜市が教育機関の協力で市内企業の商品開発を支援する「デザイン産学連携プログラム」の一環。あり



あけが「横浜」をテーマに新商品とそのパッケージデザインの開発を同大に依頼。同短大の学生14人が5グループに分かれてデザインを考えて試作品を提出し、カボチャの仮面そっくりに見えるデザインが選ばれた。作品はオレンジ系統の色でパッケージをまとめている。

同社の堀越隆宏社長は「試行錯誤した作品ばかり。作ったものを商品化したい気持ちも伝わった」と話しており、今後商品化できるよう検討していくという。